

そうじの力だより

VOL.251



支援レポート

タスク管理でPDCAサイクルを回す
 ↳自らの発案で、より良い改善を

群馬県藤岡市の産業機械メーカー、(株)石井工機。従業員四〇人の受注生産で省力機械などを製作する創業六〇年の会社です。

ここで三年半前から、弊社のお手伝いにより環境整備(整理・整頓・清掃)の取り組みが行われています。

活動前は、工場内が手狭で、増築も検討されてきました。しかし、環境整備を進める中で、不要物を徹底的に処分したおかげで、工場内は広くなり使い勝手が格段に向上しました。

生産性が上がったおかげで、粗利益率も年々向上しています。

活動スタートから三年間は、私小早が毎月訪問して、支援に当たってききましたが、皆さんの実力がついてきたことから、今年から訪問ペースを三カ月に一回にしています。

金属や樹脂の材料を管理・加工する資材グループでは、材料置場に工夫を重ねています。

当初は、今あるものを使って材料を置いていたのですが、中には材料が大きいものはみ出さず危なかつ



材料棚をより使いやすく改善した

また、切削油が飛び散って茶色く汚れていた機械や



茶色く汚れていた衝立が真っ白になった



加工工場内の手作りの工具置場

金 属 加工を加工する加工グループでは、グチャグチャになりがちなのを、定位置化することに力を入れています。

置場を手作りで製作し、迷うことなく取り出し、サッと戻すことができ、乱れにくい形にすることができました。

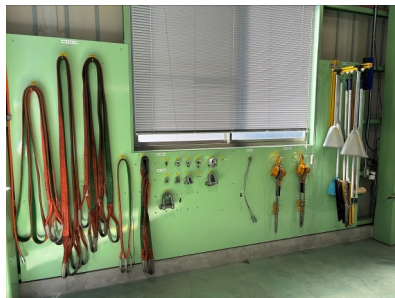
また、切削油が飛び散って茶色く汚れていた機械や

また、営業グループは、少し離れた所に倉庫があつて、そこに長い間使われていない材料や機械、試作品、書類などが溜まっていたのですが、それらをあらためて整理し、処分しました。

活動当初に、一度は整理をしているのですが、その当時に保留にしておいた物品も、三年半経った今確認してみると、やはり不要だと判断できるものが

壁掛 式の視認性が良いこと、すぐに取り出せること、そして床面から浮くために、そうじがしやすいことにあります。

また、営業グループは、少し離れた所に倉庫があつて、そこに長い間使われていない材料や機械、試作品、書類などが溜まっていたのですが、それらをあらためて整理し、処分しました。



道具が壁掛け式になり使い勝手が向上

同社の環境整備の進化は、まだまだ続きそうです。(小早)

定期的な、社長をはじめ、委員会メンバーがミーティングを行い、課題一覧表を基にして、進捗状況を確認し、随時修正をかけています。

こうしたタスク管理を行うことで、言いっぱなし、やりっぱなしにせず、着実に改善が進む仕組みが出来ています。また、部署間の連携や協力も、しやすくなっています。

同社の活動を支えているのが、独自のタスク管理方法



以前に整理した倉庫をあらためて整理

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

今月の読書から

『雇わない経営』 正木孔明著

～「人を大事にする」ために、あえて「雇わない」～



友人である正木孔明氏が初めての著書を出版しました。正木氏は愛知県の運送会社の三代目経営者。ご自身が経験した苦難から得た教訓のエッセンスを、この本で明らかにしています。

「この会社らしさ」を生んでいる仕事です。ここだけは社内に残して、人に任せず、外に丸投げしないことです。なぜなら、心臓を外に出した会社は、長くは保たないからです。」

〈二つ目が、仕組みの仕事です。手順が決まっている、繰り返しが多く、判断よりも処理が中心—そういう仕事です。ここは、人が頑張る場所ではありません。仕組みに任せる場所です。(中略)これは、効率化のための話ではありません。人を守るための考え方です。人が本当にやるべき仕事に集中できるようにするための選択です。〉

〈3つ目が、外の力の仕事です。常にあるわけではない仕事。専門性は高いが、頻度は少ない仕事。忙しさに波がある仕事。—こうしたものです。毎月あるかわからない仕事を常時人を抱えてやる必要はありません。〉

〈この三層で会社を設計する。大事なことは、「全部を“人”でやなくていい」ということ。そして、「守るべき場所だけは、絶対に手放さない」。このバ

ランスです。雇わない経営とは、人を遠ざけることではありません。むしろ、人をいちばん大切にできる場所を、はっきりさせる経営です。〉

〈たとえば、経理、請求処理、経費精算、データ入力、顧客対応の一時返信。これらは、AIや業務用ツール(SaaS)を使えば、正確に、疲れずに、同じ品質でまわり続けます。ここで大切なのは、これは「人を減らす話」ではない、ということです。「人を守るために、人以外に任せる」という選択です。〉

〈AIや業務用ツールは、人の仕事を奪うための道具ではありません。人にしかできない仕事を取り戻すための道具です。創造すること。関係を築くこと。判断すること。「ありがとう」を直接伝えること。これらは、どんなテクノロジーにも置き換えられません。〉

〈採用の質を決めるのは、「誰を雇うか」ではありません。「誰を雇わないか」を先に決めているかどうかです。〉

中小企業の進むべき方向性ですね。(小早)

〈会社の仕事を、「守る仕事、任せる仕事、借りる仕事」に分けるだけで、経営は驚くほど軽くなります。〉

〈会社の仕事は、実は3つしかありません。①心臓の仕事(会社の存在理由に関わる仕事)②仕組みの仕事(人がやらなくていい仕事)③外の力の仕事(必要なときだけ力を借りる仕事)〉

〈一つ目が、心臓の仕事です。(中略)なぜ、お客様はこの会社を選んでいるのか。ここが失われたら、この会社でなくなる仕事は何か。判断や責任を、外に渡してはいけない部分はどこか。(中略)

編集後記

労作！

わが家の庭に、手作りのウッドデッキがあります。5年前に私が作ったものですが、材料が悪かったのか、朽ちてきてしまいました。



このGWに、今回はセラガンバツという硬くて丈夫な木材を入手して、全面的に作り直しました。

硬い木ゆえ、ビス止めの前には下穴を開けるなど、かなりの手間暇がかかり、予想せぬトラブル多発に悪戦苦闘しましたが、どうにかGW中に完成することができました。

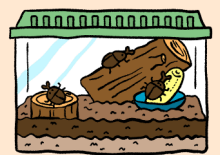
さあ、このデッキで、夏にビールを飲むぞ！ (小早)

飛鳥のつばやき

もう「あの」季節

先日キャンプに行った時のこと。

早起きした次男と一緒に散歩していると、警備員のおじさんが「いいものあるよ～！」すごくいい笑顔で手招きしてくれました。



何だろうね～！と向かってみると、カブトムシなんと4匹…！(´q`)

「今年こそもうカブトムシは飼わないぞ！」と誓い続けて3年…まさか多頭飼育をすることになるとは…。

というか、カブトムシさん、ちょっと羽化が早すぎないですかね？(；▽；) (大槻)

株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、講義、実習、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)